

第254回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

日時：令和4年11月29日（火）15:30～15:37

方法：Web会議

○司会 ただいまから郵政民営化委員会、山内委員長によります記者会見を行います。

本日もウェブ方式の会見としております。大変恐縮ですけれども、御発言をされないときにはマイクをミュートにさせていただきますように御協力をお願いいたします。

会見の進め方ですが、冒頭、山内委員長に御発言をいただきまして、その後、質疑応答を行います。

それでは、山内委員長、よろしくお願いいたします。

○山内委員長 郵政民営化委員会委員長の山内でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について御説明申し上げたいと思います。

資料については、お配りしてあるということだと思います。それを御覧いただければと思います。

本日は、日本郵政グループから日本郵政グループの2023年3月期第2四半期決算等についてヒアリングを行ったわけでございます。

この御説明内容とか具体的な内容については、配付資料を御確認いただければと思います。ここでは委員からの質疑について主に御説明いたしたいと思っております。

今、申し上げた第2四半期決算等についてでございますが、幾つか御質問、御意見が出ました。

まず第1に、郵便・物流について御質問が出まして、郵便・物流事業は巣籠もり需要で全体のパイが広がるということが言われている。その中でゆうパックが若干苦戦しているのではないかと、長期的にこれが経営に対してボディブローとして効いてくるのではないかとという御質問がありました。

また、これは郵便局関係ですけれども、郵便局の窓口事業については金融関係手数料の収益が非常に大きな柱になっているわけでございますが、その収益も下がり続けているということで、本業が縮小し続けているのは厳しいという見方もできるのではないかとということでもございました。

これに対して日本郵便からのお答えですけれども、一つはゆうパックについて、ゆうパックは巣籠もり需要で増加した反動といいますか、これは新型コロナになって増加したとか、その反動の部分があること。もう一つは、通販事業者さんが自ら配送するといった動きもあるということで、ある意味では厳しい状況にあるというふうに認識しているということでもございました。これについては他事業者との提携・連携等を進めて注力していきたいということでもありました。

それから、後半の金融関係手数料の減少については、確かに全体的に見ると少し厳しい状態になるのかなという認識であるということでございました。

以上が1つ目の論点といたしますか、質疑であります。

2つ目は、これは日本郵政グループ全体について御意見がございまして、それは御承知のとおり、今、地球温暖化とかSDGsとかESG投資という流れがあるわけですが、そういった地球温暖化、CO₂削減、あるいは再生可能エネルギー等についてどのように向き合っているのかというものであります。

日本郵政グループ全体で、例えば資産について言えば非常に大型の資産を保有している。これはゆうちょとかんぽなどは特にそうでありますけれども、こういうところについては、今、申し上げたESG投資に積極的に取り組むべきではないかという御質問がございました。

それから、日本郵政グループ全体で、今、申し上げたような環境とかESGとかSDGsとか、そういった問題に対してどういう取組をしているのか、説明してほしいということでございました。

これに対して各社より、これは非常に詳細に大量な御説明があったのですが、時間の関係もありますので要約して申し上げますと、一つは、温室効果ガスの削減についてはグループ全体で、2019年度比で2030年に46%と、非常に高い目標を掲げている。これは、政府の目標は2013年だったか、確認していただきたいと思います。もっと前の時点と比較してのことですが、このグループでは2019年度比で2030年度に46%減と、高い目標を掲げているということで、これはある意味では非常にそういった問題に対する意識が高いのだということでございます。

それで、先ほど言いましたように、各社からいろいろ御説明がありましたけれども、つづめて言うと、例えばESG投資について言うと、KPI化してそれを推進しているという問題です。これもかなり額等について具体化して、そして、KPI化しているということもございましたし、各種の投資のツールを使ってそれを行っているという御説明がありました。

そのほか、例えば郵便などですとそういったところとはちょっと離れた位置にあるわけですが、それでも例えば年賀はがきの寄附金の配分とかを行っているというお答えもありましたし、日本郵便については実業としていろいろな輸送とか配送とかがあるわけですから、そういったものに対してEV化を行う等の形で環境問題に対して意識しているということでありました。

何度も言いますけれども、各社からについて非常に多くの御説明がありまして、私自身もこの意味で言うと、日本郵政の意識は非常に高いと感じた次第でございます。

主な議論は以上でございます。何か質問があればお願いいたします。

○司会 それでは、質問をお受けいたします。御質問がある方は御発声または挙手ボタンでお知らせください。

特に御質問はないということだと思いますので、よろしいでしょうか。

それでは、本日は、これにて会見を終了させていただきます。

山内委員長、本日御出席の皆様、どうもありがとうございました。

○山内委員長 どうもありがとうございました。

以上